



# 事業のご報告

2016年3月期 (2015年4月1日～2016年3月31日)

リコーリース株式会社 [証券コード：8566]

RL-Info .....	1
トップメッセージ .....	3
中期経営計画 .....	5
連結業績のご報告 .....	7
教えて! リコーリース .....	10
特集① リース・割賦事業 .....	11
特集② 金融サービス事業 .....	13
IRひろば .....	15
CSRトピックス .....	17
会社情報・株主情報 .....	18



リコー関連  
**4割**

金融  
サービス

## リコーリースって どんな会社？

当社は「リース・割賦事業」、  
「金融サービス事業」の2つの事業を軸に、  
総合的なフィナンシャルサービス※1  
を提供しています。

重点分野

### リース・割賦事業

ファイナンス・リースを中心に、お客様の事業に  
必要な設備導入を支援しています。

リコー  
関連

リコーグループの  
販売を支援

- 複写機・複合機
- プリンター
- 印刷機
- LED照明
- プロジェクター



重点分野

お客様のニーズに応じた  
さまざまな設備導入を支援

- 事務用機器・情報関連機器
- 医療機器
- 環境関連機器
- 車両・輸送用機器
- 産業工作機械



### 金融サービス事業

多種多様な金融サービスを提供し、  
お客様の課題解決をサポートします。

金融  
サービス

お客様へ付加価値の高い  
サービスを提供

- 個人・法人向け融資
- 集金代行サービス
- 介護報酬  
ファクタリングサービス
- リコーグローバルマネーカード



事業領域を  
拡大中です！

リコーリースの法則くん



## 数値でわかる! リコーリースの特長

# 営業資産 7,525億円

(前期末比418億円増)



中小企業  
比率

## 98 %

▶ **中小企業中心のお客様基盤**



取引社数

## 40万社

▶ 日本企業の  
約10%

▶ **貸し倒れリスクが  
分散された優良な  
営業資産を形成**



平均  
契約単価

## 210万円

▶ **少額**

▶ 100万円未満の  
契約数：7割



取引  
ベンダー※2数

## 6,000社

▶ **ベンダーとの連携により**

▶ **販売支援リースを展開**

▶ P11販売支援リースの最前線をご覧ください。



事務処理  
件数

## 120万件

▶ **大量**

▶ **高効率・高品質な業務処理**

▶ ITシステムの導入や日々の業務改善により、  
大量の事務処理を効率良く処理する体制を構築



信用  
格付※3

## A-

S&P(Standard & Poor's)

## A+

R&I(格付投資情報センター)

## AA-

JCR(日本格付研究所)

▶ **外部格付機関から高い格付を取得  
好条件での資金調達を実現**

■ 格付ランク



(2016年5月19日現在)

2016年3月31日現在

※1 **フィナンシャルサービス**：当社が提供する商品・サービスの総称。

※2 **ベンダー**：リコーグループの販売会社、事務用機器・情報関連機器、医療機器や環境関連機器等を扱うメーカーや販売会社など、当社にとって重要なパートナー。

※3 **信用格付**：第三者である格付会社が、資金調達者の債務履行能力または個別債務(社債、ローン、CP等)の履行確実性を判定・表示したもの。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 瀬川 大介



**【2016年3月期の業績】**

このたびの熊本地方を震源とする地震により、被災された皆様やご家族の方々に、謹んでお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当期におけるわが国経済は、財政・金融政策等を背景に企業収益の向上や雇用・所得の改善等が見られたものの、新興国経済の減速や個人消費回復の遅れなど不透明な状況が続いています。リース業界では、2015年度のリース取扱高が前期比5.7%増加の5兆891億円（公益社団法人リース事業協会統計）となりましたが、消費増税前の水準には戻っていません。

このような経済環境のなか、当社グループは、引き続き収益性を重視した優良資産の増大と新しい成長分野の探索・育成を図りました。その結果、取扱高合計は前期比3.2%増加（2013年度比4.2%増加）の3,601億円と過去最高を更新しました。売上高はリース・割賦事業、金融サービス事業が順調に伸長し、前期比6.6%増加の2,758億

円、営業利益は前期比2.7%増加の169億円となりました。また当期純利益は、前期比9.0%増加の110億円と、過去最高額となりました。



「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」と表記しています。

## 社長就任にあたって

このたび、2016年6月15日付で代表取締役社長執行役員に就任いたしました。私は、「会社とは、お客様、取引先、社員等、当社を取り巻くすべての方々の期待に応え、良好な関係を維持・拡大することで、成長と社会貢献を同時に実現し、株主価値を向上させていくべきもの」と考えております。

まずは、本中期経営計画を確実に達成させ、次期中期経営計画でのさらなる会社の成長を目指してまいります。

## 【プロフィール】

生年月日：1954年7月21日  
出身地：千葉県  
[略歴]  
1980年3月 株式会社リコー入社  
1999年6月 当社 監査役(2008年8月 辞任)  
2005年6月 株式会社リコー 執行役員  
2006年4月 同社 経理本部長  
2009年5月 インフォプリント・ソリューションズ・カンパニー(米国) CEO  
2013年6月 株式会社リコー 常務執行役員  
2014年4月 同社 経営革新本部長  
同社 財務・内部統制担当  
2016年4月 当社 入社  
当社 副社長執行役員  
2016年6月 当社 代表取締役 社長執行役員

## Q 株主還元方針について

### A 中長期的に安定した還元を実施します

当社グループは、お客様のニーズに沿った商品・サービスを提供することにより、確実な成長を維持し、中長期的に安定した還元を行うことを基本方針としています。

当期の配当につきましては、前期から5円増配の55円(内、期末配当金として27円50銭)とさせていただきます。これにより、1996年の上場以来、21期連続で増配\*となります。

\*2000年3月期の株式分割による実質増配を含む。

### ■配当金 (■年間配当金)



## Q 2017年3月期の業績見通しについて

### A 売上高・営業利益・当期純利益いずれも過去最高を目指します

次期の業績見通しにつきましては、売上高2,850億円、営業利益173億円、当期純利益115億円といずれも過去最高の更新を目指します。

今後も利益ある成長を実現するため、多様化するお客様のニーズに応じた付加価値の高い提案や新サービスの開発を進めてまいります。また、高効率・高収益体質のさらなる強化を図ってまいります。

### ■業績見通し

(単位：億円)

	2016/3 (実績)	2017/3(予想)	
		2017/3	前期比(%)
売上高	2,758	2,850	3.3
営業利益	169	173	2.1
当期純利益	110	115	4.1

\*業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後さまざまな要因により、これらの業績見通しとは異なる場合があることをご承知おきください。

# 中期経営計画の進捗

2016年3月期で2年目を終えた、中期経営計画(以下、中計)の進捗状況をご報告します。

目指す姿

## 利益ある成長を続ける フィナンシャルサービス事業会社

### ①事務・情報分野、医療分野で業界トップを目指す

→ 業界シェア：**8.9%** → 業界シェア：**17.4%**

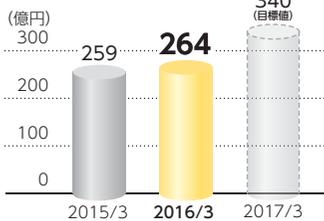
### ②金融サービス事業の利益構成比を20%まで上げる

当社は、成長の柱である「金融サービス事業」の拡大に注力しています。収益源が異なる2つの事業が相互補完することで、よりバランスのとれた経営を可能にするため、同事業が生み出す営業利益の構成比を20%まで引き上げることを目指しています。

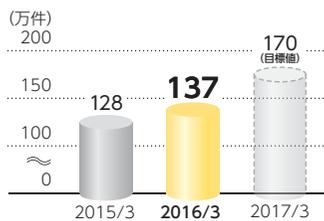
■金融サービス事業の利益構成比



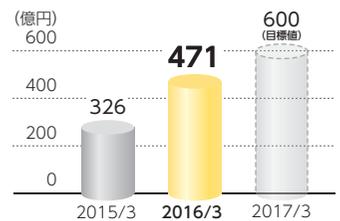
■融資取扱高



■集金代行月間取扱件数



■介護報酬ファクタリング取扱高



### ③新しい分野へのチャレンジ

●新規分野

環境関連機器 再生可能エネルギーの発電システム、LED照明やスマートメーターなど

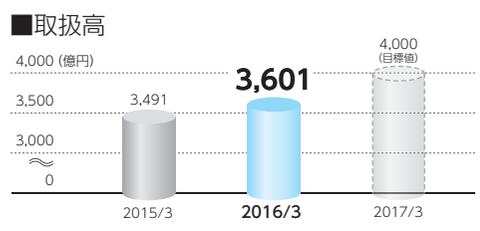
●新商品の開発

2015年度新サービス Casaダイレクト、マンション管理組合向けローン(→P13へ)



経営戦略

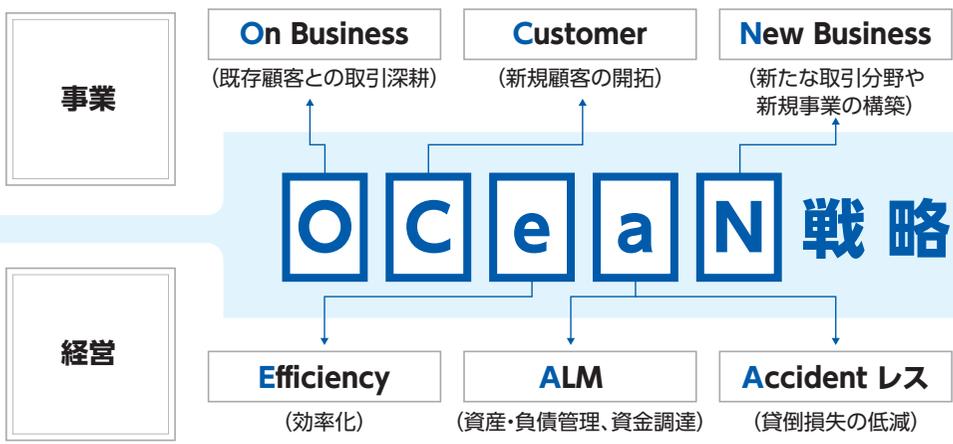
「取引商品・地域」「顧客」「新規分野・事業」の拡大と経営基盤を強固にすることで、**利益を稼ぎ(earn)、企業価値向上の大海原(ocean)をつくる**



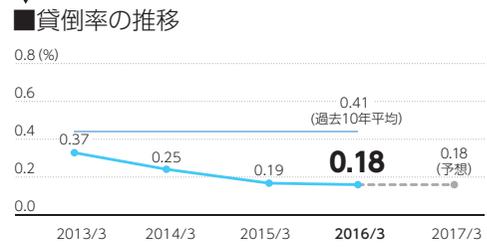
既取引先の取引拡大と新たな分野や顧客開拓により順調に増加



順調に取扱高を増やしたことで、中計目標達成まであと一歩の水準に到達

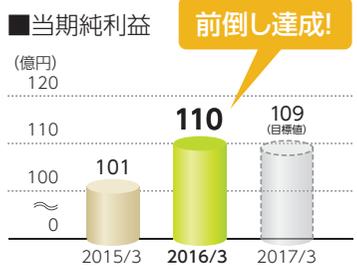
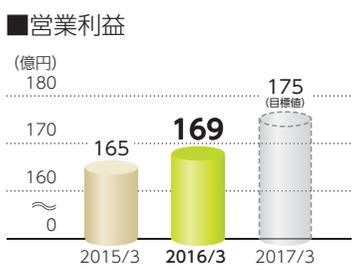


調達総額は増加したものの、低利の資金調達でコストを抑制

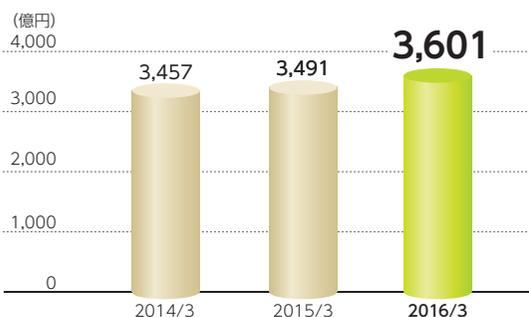


緩やかな景気回復基調に加え、独自の審査システムを適切に運用し、貸し倒れを抑制

主要財務データ



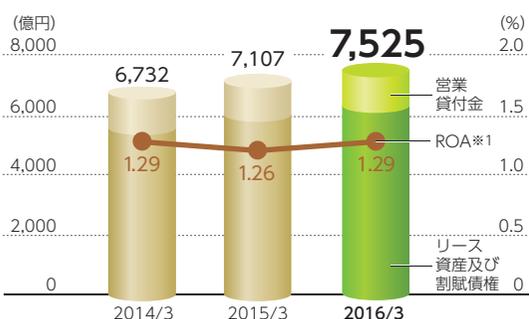
## ■ 取扱高



前期末比 **3.2%** 増 ↑ **過去最高を更新**

主力分野の事務用機器・情報関連機器は、前第1四半期まで続いたパソコン入れ替え需要の反動減はあったものの、注力分野である医療機器や環境関連機器が伸長し、取扱高は前期末比3.2%増加の3,601億円と過去最高を更新しました。

## ■ 営業資産残高



前期末比 **418** 億円増 ↑ **順調に続伸**

取扱高が過去最高となったことで、営業資産残高は前期末に比べ418億円増加の7,525億円と過去最高額となりました。

### 用語解説

※1 ROA(総資産当期純利益率)  
 当期純利益÷平均総資産。  
 当社が目指す高収益体質の重要指標の一つ。



財務データを  
読み解くポイント

## Q. 営業キャッシュ・フローがマイナスなのはなぜですか？

**A.** 回収したリース料以上に、リース物件を購入しているため  
 (収入) < (支出)

### 【契約単位で見てみよう!】

新規にリース契約をした際、リース会社は対象となるリース物件を購入(支出)するため、営業キャッシュ・フローはマイナスとなります。その後、リース期間にわたりお客様から毎月リース料を分割で回収(収入)するため、契約単位で見ると契約終了時の営業キャッシュ・フローはプラスとなります。

### 【営業キャッシュ・フローのマイナスはリース事業の成長!】

営業キャッシュ・フローがマイナスということは、リース物件の購入がリース料の回収を上回ることを示し、新規のリース契約が順調に獲得できていることを意味しています。営業キャッシュ・フローがマイナスとなる部分は、資金調達活動による財務キャッシュ・フローで補いバランスを取っています。



必要なリース物件の購入資金は金融機関からの借入や社債などで調達しています。当社は高い格付を取得し、好条件での資金調達を実現しています。

### ■ 営業キャッシュ・フローチャート

#### 【リース料の回収】

契約終了時には、収入が契約時の支出を上回る  
 =営業キャッシュ・フローの増加



#### 【リース物件の購入】

契約物件の購入により支出が増加  
 =営業キャッシュ・フローの減少



詳細はHPをご覧ください。

リコーリース 財務ハイライト

検索

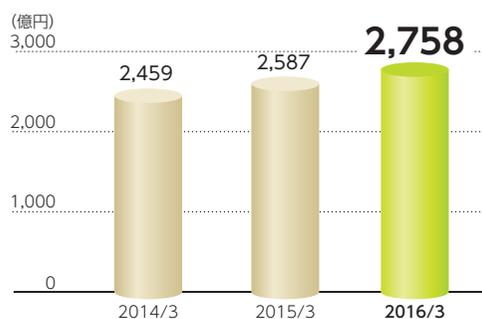
[www.r-lease.co.jp/ir/finance/](http://www.r-lease.co.jp/ir/finance/)

トップページ

IR情報

財務ハイライト

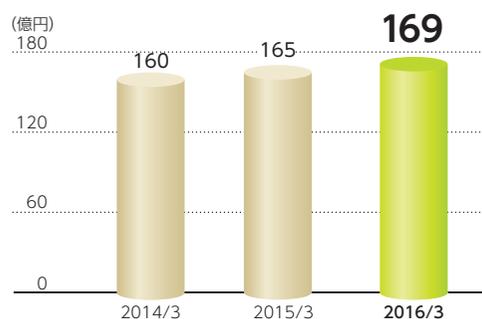
## ■ 売上高



前期比 **6.6%** 増 **↑6期連続の増収**

売上高は、前期比6.6%増加の2,758億円と伸長し、6期連続の増収かつ2期連続で過去最高を更新しました。リーマン・ショック以降増加し続けている取扱高により、リース料収入・割賦売上高が増加しました。

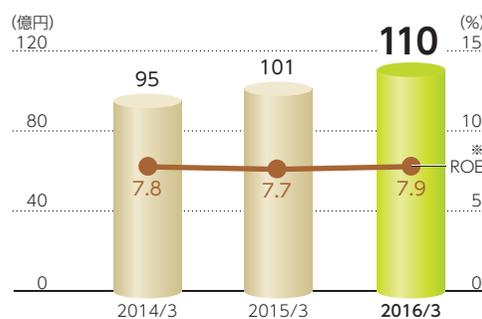
## ■ 営業利益



前期比 **2.7%** 増 **↑2期連続の増益**

営業利益は、前期比2.7%増加の169億円と2期連続での増益となりました。人件費や事業所税など経費は増加しましたが、金融サービス事業の収益増加や、貸倒費用の減少が貢献しました。

## ■ 当期純利益



前期比 **9.0%** 増 **↑過去最高を更新**

当期純利益は、営業利益が増益となったことに加え、法人税率が低下したことにより、前期比9.0%増加し110億円と過去最高を更新しました。

### 用語解説

※2 ROE (自己資本利益率)  
当期純利益 ÷ 平均自己資本。

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

科目	前期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	当期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△474	△312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	385	355
現金及び現金同等物の増減額	△99	29
現金及び現金同等物の期首残高	105	6
現金及び現金同等物の期末残高	6	35

営業活動によるキャッシュ・フローは、312億円の支出となりました。取扱高が順調に推移し、リース物件など営業資産の購入が増加しました(支出増)。一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加や社債の発行により、355億円となりました。

## ■ 事業別業績

### [リース・割賦事業]

#### ポイント

- 取扱高は3期連続で過去最高を更新
- 医療機器・環境関連機器など注力分野が伸長
- 粗利は増加するも経費が増加し、営業利益は減少

取扱高 **3,337** 億円 / 前期比 **3.3%増** ↑

売上高(左軸) 前期比 **6.4%増** ↑  
 営業利益(右軸) 前期比 **1.5%減** ↓



#### ■ 10年前との比較

注力分野の取扱高を大きく伸ばし安定成長

	2006/3	2016/3
取扱高	2,659億円	3,337億円
医療機器	291億円	432億円
環境関連機器	-	234億円

複写機・複合機のリースを基盤とし、医療(2000年頃から)と環境(2010年頃から)を注力分野として取扱高を大きく伸ばし、リース・割賦事業の成長を支えています。

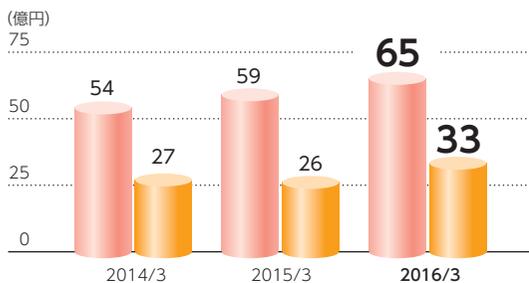
### [金融サービス事業]

#### ポイント

- 売上高は10期連続の増収かつ最高値更新
- 営業利益は融資・手数料ビジネスが大幅に伸長
- 集金代行サービス、介護報酬ファクタリングサービスともに順調に推移

取扱高 **264** 億円 / 前期比 **1.7%増** ↑

売上高 前期比 **9.9%増** ↑  
 営業利益 前期比 **25.7%増** ↑



#### ■ 10年前との比較

融資と決済サービスで第2の柱に成長

	2006/3	2016/3
融資残高	192億円	1,106億円
集金代行月間取扱件数	-	137万件
介護報酬ファクタリング取扱高	-	471億円

融資は住宅ローンを基盤に診療所開業や法人向けにも注力。「集金代行サービス」、「介護報酬ファクタリングサービス」等の決済サービスを立ち上げ、新たな収益の柱となりました。

このコーナーでは株主の皆様からのさまざまな疑問にお答えします。

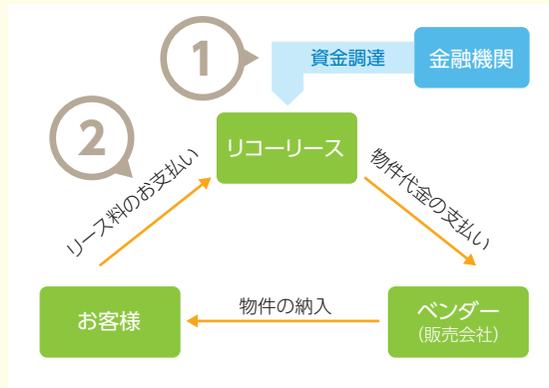


## 金利変動はリース事業にどのような影響がありますか?

2016年2月、日銀の金融政策としてマイナス金利が導入されました。  
今回は、金利の変動がリース事業にどのような影響を与えるのかを解説します!

### リースと金利の関わり

リース会社は、金融機関などから調達した資金で設備機器を購入後、リース物件としてお客様に提供し、リース料としてその資金を回収します。金利は、金融機関などからの資金調達、また、お客様からいただくリース料のそれぞれに深く関係しています。



## 1 資金調達への影響

### ■調達総額と資金原価の推移



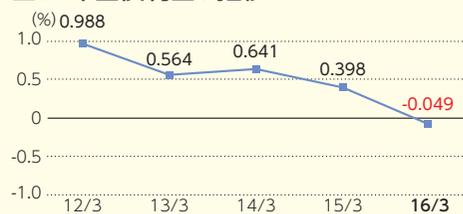
※資金原価:リース会社がリース物件購入の際に行う資金調達の利息のこと。売上原価の項目の一つ。

営業資産の増加に伴い、資金調達総額が年々増加していますが、資金原価\*は減少しています。市場金利が低下したことに加え、当社では、金融市場の動向、資産・負債状況の分析に基づいた財務戦略を実行することで、低金利での資金調達を実現しています。

## 2 リース料への影響

マイナス金利政策の導入により、今後は競合他社や銀行との競争によってリース料の値下げにつながる可能性があります。当社では、顧客価値の高い提案や商品スキームの提供により、利益の確保を目指します。

### ■10年国債利回り推移



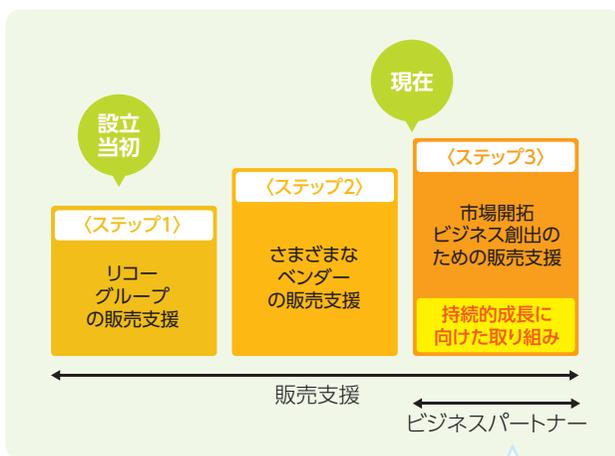
出典:財務省

# 販売支援リースの最前線

持続的な成長に向けた取り組みについてご紹介します。

## ●リコーグループの販売支援から、さまざまなベンダーの販売支援へ

当社は、リコー製品を扱うベンダー（販売会社）の販売支援を目的に設立されました〈ステップ1〉。その後長年培ってきた、当社の強みとする「販売支援リース」のノウハウを活かし、さまざまな業種のベンダーへ展開することで、販売促進に貢献してきました〈ステップ2〉。



## ●販売支援からビジネスパートナーとして

ベンダーへの営業活動のポイントは、「いかに当社との取引にメリットを感じていただけるか」です。当社では、40万社の顧客基盤を活かした、お客様の紹介や有益な情報提供、リース提案を行い、ベンダーの市場開拓やビジネス創出へ貢献できるビジネスパートナーを目指しています〈ステップ3〉。

今後も、価値のある営業活動に励み、ベンダーとともに持続的な成長を目指します。



## 販売支援リースとは？

一般的なリース取引では、お客様とリース会社が直接契約を締結します。当社の「販売支援リース」の多くは、ベンダーが物件の商談と同時にリース契約も代行する仕組みです。

当社では、以下の2つの特長を加え、ベンダーの営業をサポートしています。

### リコーリース



#### 特長1 迅速な審査回答・契約手続き

ITを活用した迅速な審査回答、契約手続きを行うことで、ベンダーの円滑な商談成立に貢献

#### 特長2 各業界に精通した適切なリース提案

6,000社を超えるベンダーの販売を支援してきた、当社ならではのノウハウを活かしたリース・サービスの提案





## 【販売会社インタビュー】株式会社イノフィス様



リコーリースとともに営業活動を展開し、作業支援ロボット「マッスルスーツ」の市場創出を目指しています。

株式会社イノフィス  
代表取締役社長 藤本 隆 様

### 働く人を守る「マッスルスーツ」を開拓

当社は、東京理科大学工学部 小林宏教授が開発した「腰補助用マッスルスーツ」の設計、製造、販売事業を行う大学発ベンチャー企業です。当社の企業理念「生きている限り自立した生活を実現したい」という思いが込められたマッスルスーツは、装着するだけで腰への負担を軽減させ、働く人々を守る製品であり、介護施設や工場内の作業時などでご活用いただけます。しかし、作業支援ロボットは新たな分野のため、自ら市場・販路を開拓しなければならず、どのように普及させるかが、最大の経営課題です。



取締役 営業第一部長 齋藤 昭宏 様

### 頼りになるリコーリースの販売支援

リコーリースは、医療・介護分野の大きな顧客基盤を活かし、2014年の発売当初から、お客様の開拓と提案などを支援してくれました。おかげさまで、「一度慣れたら、これ無しでは作業できない」などご利用者から満足の声もいただけるようになりました。今後も、リコーリースには、新たなリーススキームの構築やリコーグループのネットワークを活かした販売促進等、さらなる支援を期待しています。そして、マッスルスーツをヘルメットや安全靴のように働く人を守る必需品として、広く普及させることを目指していきます。



### 医療・介護分野の 大きな顧客基盤

当社は医療・介護それぞれの分野において、専任の営業部隊を有しています。特に医療分野では、15年以上蓄積してきた顧客基盤を強みに、シェアを拡大しています。

■医療分野における  
業界シェア

17%

医療機器取扱高

432億円

2,486億円

(リース事業協会調べ)

# 不動産業界向け新サービスの提供

リコーリースならではのきめ細かいサービスを提供しています。

## 不動産業界をとりまく環境

国内の人口動態が変化し、不動産業界をとりまく環境も変化しています。未婚化・晩婚化が進み、単身世帯や、夫婦のみ世帯の増加等により、人口が減少する一方で、世帯総数は2020年まで増加するものと予想されています。

このような環境下、当社は、金融サービス事業である融資と手数料ビジネスを活かした、新たなサービス提供を開始しました。不動産業界のニーズに応じた、付加価値の高いサービスを提供することで、お客様への金融面での課題解決や利便性の向上に貢献しています。



■日本の総人口と世帯総数の推移



出典：日本の総人口 総務省統計局、世帯総数 国立社会保障・人口問題研究所  
 ※日本の総人口は2010年以降、世帯総数は2013年以降推測値。

2015年度  
新サービス

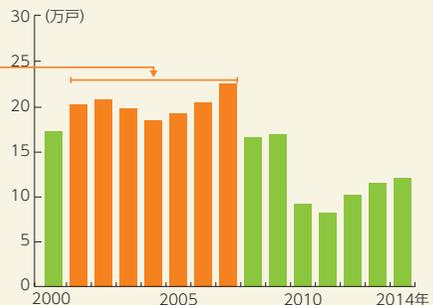
1

## 「マンション管理組合向けローン」



2000年代前半に大量に販売されたマンションが、今後、大規模修繕の時期を迎えます。一方で、震災復興やオリンピック需要等による資材価格・人件費の高騰で修繕積立金が不足するマンション管理組合が増加しています。そこで、当社では、マンション管理組合に向けて、修繕積立金不足等に対するローンの提供を開始しました。

■マンションの新規供給戸数推移

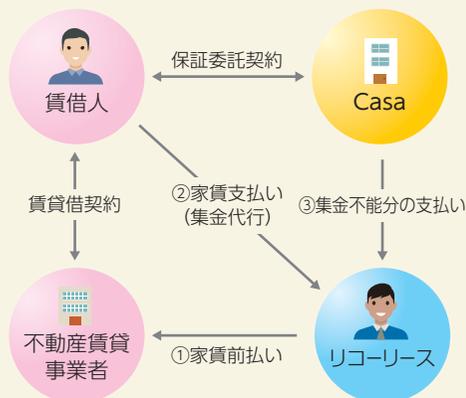


出典：国土交通省

2015年度  
新サービス

2

## カーサ 「Casaダイレクト」 家賃前払い付き集金代行+家賃保証



当社は、2015年6月より、賃貸住宅の家賃保証を手掛ける株式会社Casa (以下、Casa) 様と新サービス「Casaダイレクト」の販売を開始しました。当社の家賃前払い付き集金代行と、Casa様の家賃保証をパッケージ化することで、不動産賃貸事業者の事務作業軽減、家賃の不払いリスク等をなくし、安定した賃貸経営をサポートするサービスです。

**集金代行：**不動産賃貸事業者に代わって、口座振替などで借借人から家賃の回収を代行するサービス。

**家賃保証：**家賃滞納などが発生した場合、保証会社が借借人に代わって、不動産賃貸事業者に家賃の支払いを行うサービス。

### 「Casaダイレクト」の導入事例 住友不動産株式会社様



後ろ向きの業務が軽減され、  
リーシング営業に  
専念できるようになりました。

住友不動産株式会社  
賃貸住宅第一事業本部 勝田 洋平 様

#### Q.お仕事の内容やサービス利用の きっかけを教えてください

私は、主に高級賃貸マンションのリーシング営業\*を担当しています。高額家賃であることから家賃保証の契約が増加しています。以前より家賃保証や集金代行は利用していましたが、それぞれ別々の契約であり借借人へのサービス説明、契約事務が煩雑でしたので、ワンストップで完結する本サービスを、早速お願いすることにしました。

\*賃貸の不動産物件に対して入居者やテナントを付ける仲介業務。

#### Q.サービス利用後の ご感想をお聞かせください

本サービスは契約時の手間の軽減だけでなく、家賃全額を前払いいただけるので、今まであった家賃滞納の督促業務や、経理業務がなくなりました。

後ろ向きの業務が軽減されることで、前向きなリーシング営業に専念できるようになりました。



## IRひろば 株主の皆様とのコミュニケーションページです。

2016年3月期第2四半期「事業のご報告」を発行後、IR活動に関するアンケートを実施し、2,954名(回答率24.4%)の株主の皆様からご回答をいただきました。今回は、そのなかから特に多かったご質問にお答えします。

### Q 個人投資家向けにはどのようなIR活動を行っていますか？

#### A. IRセミナーにて、会社説明会を行いました。

2015年12月15日、個人投資家向けIRセミナーにて、社長の松石(当時)より事業内容や経営戦略、株主還元等について説明しました。当日は、108名の個人投資家の皆様に参加され、貴重なご意見・ご質問をいただきました。



個人投資家向けIRセミナー

### Q 社員の労働環境について教えてください。

#### A. 社員の健康増進に向け、さまざまな取り組みを行っています。

当社は、「社員一人ひとりを尊重し、豊かさの充実に努め、いきいきと働ける環境をつくる」という基本姿勢のもと、社員の健康増進に向けて、以下のような取り組みを行っています。

- 定期健康診断の受診率 100%
- 社員参画による衛生委員会の実施(月1回)
- 生活習慣病予防のための「健康セミナー」を開催
- 婦人科検診の実施(2015年度 乳がん検診受診率:81%)
- 長時間労働防止の施策(残業時間の低減・有給休暇取得の促進)

このような取り組みが評価され、当社は経済産業省と東京証券取引所(以下、東証)が共同で取り組む「健康経営銘柄2016※1」に選定されました。

※1 東証上場企業のなかから、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる優れた企業として25社を選定。



健康経営銘柄2016発表会  
プレゼンター 潮田 玲子氏(左)  
当社 代表取締役 社長執行役員 松石 秀隆(右/当時)

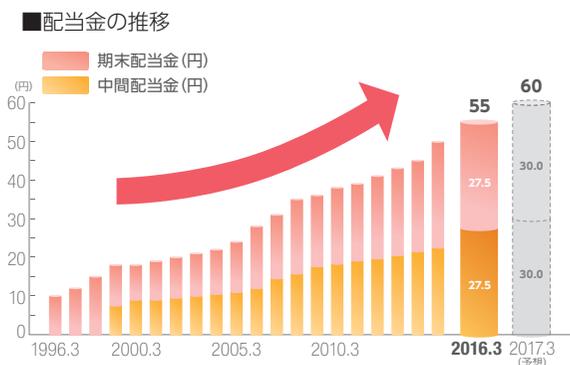
Q

配当実績について教えてください。

## A. 東証上場以来、21期連続で増配※2を行っています。

2017年3月期の配当については、5円増配の60円を予想しています。今後も、業績の向上に取り組み、安定した株主還元が継続できるよう努力してまいります。

※2 2000年3月期の株式分割による実質増配を含む。



Q

株主優待制度について教えてください。

## A. 株主優待として、QUOカードを進呈しています。

## 特徴1 長期保有優遇制度

株主の皆様が長期的な視点で投資していただくために、株式保有期間に応じた額面を設けています。保有継続期間の認定は3月末日を基準とし、保有確認は3月末と9月末の年2回行います。

## 特徴2 社会貢献型株主優待

株主の皆様がQUOカードをご利用いただくことで、間接的に社会貢献活動にご参加いただける仕組みです。2015年度は、当社が支援する3つの団体へ総額280万円を寄付しました。

株主の皆様がQUOカードで  
買い物をしていただくこと…



QUOカードは商品券として  
全国約55,000店舗で  
ご利用いただけます

ご使用額に基づき算出した金額を  
リコーリースの負担で  
「緑の募金」等へ寄付します



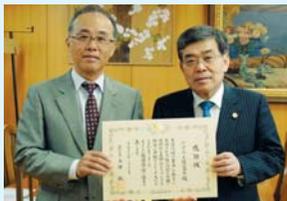
翌年3月末日までに QUOカードを利用されることで、  
社会貢献活動に参加いただけます！



寄付金額は、株主の皆様が2015年3月までにご利用  
いただいたQUOカードのご使用額に基づき算出。

[2015年度の寄付先]

- 公益社団法人  
国土緑化推進機構
- 特定非営利活動法人  
地球船クラブ エコミラ江東
- 日本タンゴセラピー協会



## 林野庁長官より感謝状が贈られました

当社では、2005年度から10年以上継続して「緑の募金」に寄付しています。2015年度も同法人に200万円を寄付し、林野庁長官より感謝状が贈呈されました。

林野庁長官 今井 敏 氏(右)  
当社 取締役 専務執行役員 長田 泰賢(左/当時)

# CSR TOPICS

## ダイバーシティ&ワークライフ・マネジメントの取り組み

### 1 「プラチナくるみん」認定を取得 (日本企業のなかから79社が取得)

2015年12月、仕事と家庭の両立支援制度の整備・拡充など、子育てサポート企業として高い水準で取り組みを行っていることが評価され、東京労働局長から「プラチナくるみん」の認定を受けました。



### 2 なでしこ銘柄に選定 (全上場会社3,455社から45社が選定)

2016年3月、女性が働き続けるための雇用環境の整備を含め、女性活躍を積極的に推進している企業として、経済産業省と東京証券取引所が取り組む「なでしこ銘柄2016」に選定されました。



### 3 男性社員の育児参加を推進する『育メン・チャレンジ休暇制度』を導入

当社では、子どもが生まれた全男性社員が育児休業を取得し、積極的な育児参加を推進する制度として「育メン・チャレンジ休暇制度」を導入しました。2015年度より、11名が本制度を利用し、育児休業を取得しています。

#### 育メンの声

2015年5月に長男が誕生し、12月に育児休業を取得しました。長女の保育園の送迎や、遊び相手をしながら長男のオムツを交換したりと、育児の大変さや大切さをあらためて実感しました。取得後は、子どもたちと過ごす時間をつくるために、仕事の効率化をより一層意識するようになりました。(財務部 経理課 内 政人)



子育て奮闘中

## 社会貢献活動の報告



社員の家族も多数参加

当社では、2004年からピンクリボン活動に参加し、乳がん検診受診啓発運動を続けています。2016年3月に東京で開催された「ピンクリボンウォーク(認定NPO法人 乳房健康研究会主催)」には、総勢41名が参加し、街行く人に乳がんの早期発見・検診の大切さを伝えることができました。

会社概要 (2016年3月31日現在)

商号 リコーリース株式会社  
(RICOH LEASING COMPANY, LTD.)  
資本金 7,896百万円  
上場市場 東京証券取引所 市場第一部  
(証券コード:8566)  
従業員 928名(連結)  
設立 1976年12月  
事業内容 リース・割賦事業  
金融サービス事業  
財務局ナンバー 関東財務局長(11)第00286号

役員 (2016年6月15日現在)

<b>取締役</b>	<b>執行役員</b>
代表取締役 瀬川 大介	社長執行役員 瀬川 大介
取締役 吉川 淳	常務執行役員 吉川 淳
取締役 眞鍋 求	常務執行役員 眞鍋 求
取締役 戸谷 浩二	常務執行役員 清見 純子
取締役 佐藤 邦彦	執行役員 戸谷 浩二
社外取締役* 志賀 貢	執行役員 武藤 裕文
社外取締役* 瀬戸 薫	執行役員 中村 徳晴
	執行役員 高木 明人
	執行役員 山田 裕治
	執行役員 佐野 弘純
<b>監査役</b>	
常勤監査役 石黒 一也	
社外監査役* 百武 直樹	
社外監査役* 徳嶺 和彦	

\*印を付した取締役・監査役は株式会社東京証券取引所の定める独立役員です。

営業拠点 (2016年3月31日現在)

北海道から沖縄まで、  
リコーリースは日本全国をカバーしています。

北海道 札幌／旭川  
東北 仙台／盛岡  
関東 東京(本社・テクノレント)／立川／横浜  
千葉／さいたま／宇都宮／水戸  
中部 名古屋／静岡／金沢  
関西 大阪／神戸／京都  
中国・四国 広島／岡山／高松／松山  
九州 福岡／熊本／那覇



各営業拠点の住所と連絡先は、HPをご覧ください。

リコーリース 事業所一覧

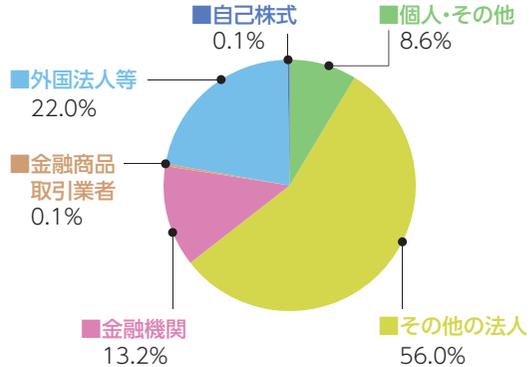
[www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html](http://www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html)

[トップページ](#) [企業情報](#) [事業所一覧・地域展開](#)

株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数 120,000,000株  
発行済株式の総数 31,243,223株  
株主数 21,501名(単元株主数 19,355名)  
単元株式数 100株

【株式分布状況】



大株主上位10名 (2016年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社リコー	16,478	52.8
全国共済農業協同組合連合会	1,233	4.0
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,070	3.4
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	832	2.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	593	1.9
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	545	1.7
コカ・コーラウエスト株式会社	502	1.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	415	1.3
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	401	1.3
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	354	1.1

\*持株比率は自己株式(26,525株)を控除して計算しています。

株主メモ

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎0120-782-031

株式に関する住所変更などの  
お届出及びご照会について  
証券会社に口座をお持ちの場合 ▶ お取引の証券会社にお申し出ください。  
特別口座の場合 ▶ 上記三井住友信託銀行にお申し出ください。



《表紙写真は180度見開きでご覧いただけます》



木々の葉が厚みを増す5月。爽やかな新緑と光のコラボレーションをリコーイメージングのカメラで撮影しました。



製品等詳細はHPをご覧ください。 K-1 4/28発売

リコーイメージング製品

検索

リコーリース株式会社 [証券コード：8566]

〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12 www.r-lease.co.jp/  
お問合せ先：経営企画部 TEL：03-6204-0608 E-mail：ir@rle.ricoh.co.jp

《本冊子は環境に配慮した製本方法を採用しています》



★各マークの詳細はHP内の事業報告書ページをご覧ください